

## 発 言 通 告 書 < 総括表 >

平成14年 第4回 定例会 一般質問

発言者	発言事項	発言要旨	答弁を求める者
1 福山議員	1、介護保険第2期事業計画について  2、痴呆性高齢者グループホーム利用者負担約20万円について 3、支援費制度について	1、保険料の設定、減免制度 全国介護保険担当課長会議9月4日において、保険料設定の弾力化が示されたもとでの、保険料負担増を軽減するために 2、居宅サービス利用者負担軽減制度を区民生活実態に則し要件改善を再び求める  1、事業者決定後の段階で利用者負担の設定は 2、所得によって排除されないための助成について  1、国 都への要望は 2、区の自主設定は イ.支援費は都心区千代田にのしい上乗せを ロ.自己負担は現行水準をこえない ハ.認定家族介護を前提としない自立生活のできるサービス量を ニ.公正な審査体制を ホ.ケアマネージャーの配置は ヘ.自分で契約の困難な障害者への支援を	区長並びに関係理事者
2 大串議員	1、区の文化政策について  2、子どもの読書推進について  3、ブック・スタートについて	(1)文化芸術振興条例を策定すべきでは。 (2)区長部局となった文化担当課の役割と充実について  (1)学校図書館の充実について (2)具体的な読書推進方法は ブックスタートの制度新設を	区長並びに教育長及び関係理事者
3 竹田議員	江戸開府400年事業を問う  保健行政と学校保健の関連について	江戸時代のコミュニティの形成やまちづくりに学ぶ千代田区型都市再生とランドデザインの構築を  学校保健もライフステージの中の健康づくりの一貫である教育委員会として保健行政の連ケイを	区長、教育長並びに関係理事者
4 鈴木議員	不況対策、中小零細企業と地元商店活性化について  JR東日本の宇都宮・高崎・常磐線の東京駅乗り入れ計画について	区内中小零細企業はかつてない深刻な事態になっており、倒産、転廃業が増えています 全庁あげた支援策が必要であり、そのためにも区が直接実態をつかみ対策を講じることが必要です 区が中小零細企業の経営努力を实らせる支援策を具体化するためにどう取り組むべきか、見解を問う  神田地区東北新幹線通過計画の当時の区、区議会の取り組み、住民運動の教訓から学び、今回の計画に区としてどう取り組むのか区の対応について問う	区長並びに関係理事者
5 小枝議員	千代田区住民参画条例の制定について	2000年の分権改革から2年、千代田区は矢継ぎ早に新たな政策を公表・実施してきたが、地方自治体は住民からの信託によって成り立っているものであるから、そのチャレンジが大きなものであればある程、住民の意思であるかどうか問われる。 千代田区としても、新時代にふさわしい住民参画の理念とシステムを整理し、自治の基本となる条例として整備してはいかかが。	区長ならびに関係理事者
6 松本議員	区民が住みやすく住み続けられる住宅政策について	高齢者にやさしい住宅の整備 若い世代のニーズにこたえられる住宅の整備 単身者も安心して、安全に生活できる住宅の整備	区長並びに関係理事者